



平成28年8月19日

各 位

会社名 株式会社テクノメディカ
代表者名 代表取締役社長 實吉 政知
(コード: 6678、東証第1部)
問合せ先 経営管理部長 萩原 一志
(TEL. 045-948-1961)

(訂正) 「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成23年8月5日に開示いたしました「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成28年8月19日)付「平成28年3月期決算短信及び過年度に係る決算短信等(訂正版)の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫 TEL 045-948-1961
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,510	△9.8	244	△13.6	246	△18.0	150	△43.1
23年3月期第1四半期	1,674	47.1	282	166.9	300	183.2	263	305.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5,139.01	-
23年3月期第1四半期	9,030.97	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,898	7,350	82.6
23年3月期	9,876	7,421	75.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,350百万円 23年3月期 7,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0.00	-	7,600.00	7,600.00
24年3月期	-				
24年3月期(予想)		0.00	-	7,600.00	7,600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,356	△1.1	518	△4.2	519	△4.3	308	△12.9	10,567.32
通期	8,225	8.8	1,644	13.3	1,647	13.2	978	4.8	33,504.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	29,200株	23年3月期	29,200株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	－株	23年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	29,200株	23年3月期1Q	29,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、東日本大震災の影響により急速に悪化いたしました。供給面の制約が和らぐ中で生産活動に持ち直しの動きが見られるようになりました。

国内医療業界においては、政府の医療費抑制政策などにより医療機関の経営環境は厳しい状況にあり、医療機器に対する設備投資は、横ばいで推移するものと思われます。また、このところの為替相場における円高基調が海外メーカーとの競争において影響を及ぼす恐れがあります。

このような経営環境の中で、当社では本年度の売上計画を達成すべく、売上が集中する第2四半期以降を見据え営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第1四半期の売上高は1,510,117千円(前年同期比9.8%減少)となりました。当第1四半期は国内市場において前期に比べ低調に推移した一方、海外市場では、アジア市場において販売単価の高い採血管準備装置の販売が伸びたことなどから当第1四半期の総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比3.0ポイント増加し9.2%となりました。

利益面に関しては、売上総利益は741,337千円(前年同期比11.6%減少)、販売費及び一般管理費が496,886千円(前年同期比10.6%減少)となりましたが、営業利益は244,451千円(前年同期比13.6%減少)、経常利益は246,392千円(前年同期比18.0%減少)、四半期純利益は150,058千円(前年同期比43.1%減少)となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置

当第1四半期における採血管準備装置の売上高は505,500千円(前年同期比26.8%減少)となりました。

第1四半期は国内市場における売上高は434,002千円(前年同期比33.8%減少)となりました。

海外市場においては、アジア市場を中心に販路拡大の成果が表れ、売上高は71,498千円(前年同期比102.8%増加)となりました。

・検体検査装置

当第1四半期における検体検査装置の売上高は116,135千円(前年同期比16.7%減少)となりました。

競合海外メーカーとの競争が続く国内市場の売上高は90,742千円(前年同期比21.3%減少)となりました。

海外市場においては、中南米市場での販売が好調であったため、売上高は25,393千円(前年同期比4.8%増加)となりました。

・消耗品等

当第1四半期における消耗品等の売上高は805,535千円(前年同期比0.4%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計納入台数の増加に伴い763,681千円(前年同期比0.7%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、41,853千円(前年同期比5.4%減少)となりました。

・その他

当第1四半期においては、その他の売上高は82,947千円(前年同期比98.3%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産の残高は8,898,245千円となり、前事業年度末比978,617千円減少しました。これは主に、仕入債務の支払、配当金の支払及び法人税等の納付等により現金及び預金が546,122千円減少、売掛金の回収が順調に進んだこと等により売上債権が335,411千円減少したことによるものであります。

当第1四半期末の負債の残高は1,548,242千円となり、前事業年度末比906,756千円減少しました。これは主に、平成23年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が554,611千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が294,037千円減少したことによるものであります。

当第1四半期末の純資産の残高は7,350,003千円となり、前事業年度末比71,861千円減少しました。これは繰越利益剰余金が571,861千円減少、別途積立金が500,000千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は82.6%となり、前事業年度末比7.5ポイント上昇しました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日付の平成23年3月期決算短信で発表した平成24年3月期第2四半期累計期間並びに通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法は、固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積もりを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,153,569	3,607,446
受取手形	602,434	888,320
売掛金	<u>1,864,536</u>	<u>1,243,238</u>
商品及び製品	<u>1,252,678</u>	<u>1,226,594</u>
仕掛品	236,432	193,435
原材料及び貯蔵品	77,238	75,631
前払費用	8,321	4,613
繰延税金資産	<u>75,220</u>	<u>65,985</u>
その他	989	1,621
貸倒引当金	—	<u>△3,430</u>
流動資産合計	<u>8,271,421</u>	<u>7,303,457</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	852,411	852,411
減価償却累計額	<u>△355,181</u>	<u>△362,479</u>
建物(純額)	<u>497,229</u>	<u>489,932</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	<u>△2,726</u>	<u>△2,769</u>
構築物(純額)	<u>1,351</u>	<u>1,308</u>
工具、器具及び備品	53,166	53,497
減価償却累計額	<u>△38,648</u>	<u>△40,477</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>14,518</u>	<u>13,020</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,300,426</u>	<u>1,291,587</u>
無形固定資産		
特許権	4,050	3,881
商標権	1,466	1,416
ソフトウェア	1,619	1,390
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>8,313</u>	<u>7,866</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
破産更生債権等	38,155	38,155
繰延税金資産	145,901	<u>144,007</u>
保険積立金	96,645	98,023
差入保証金	31,379	30,530
貸倒引当金	<u>△22,892</u>	<u>△22,892</u>
投資その他の資産合計	<u>296,700</u>	<u>295,334</u>
固定資産合計	<u>1,605,441</u>	<u>1,594,788</u>
資産合計	<u>9,876,862</u>	<u>8,898,245</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,169,507	614,896
短期借入金	100,000	100,000
未払金	283,136	78,681
未払法人税等	381,824	87,787
未払消費税等	15,093	26,407
未払費用	45,391	47,649
前受金	3,412	84,527
預り金	7,465	27,984
賞与引当金	94,000	130,000
その他	2,433	1,653
流動負債合計	<u>2,102,265</u>	<u>1,199,588</u>
固定負債		
役員退職慰労引当金	195,205	198,780
製品保証引当金	148,542	140,866
受入保証金	8,984	9,006
固定負債合計	<u>352,732</u>	<u>348,653</u>
負債合計	<u>2,454,998</u>	<u>1,548,242</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	5,384,138	5,312,277
株主資本合計	<u>7,421,864</u>	<u>7,350,003</u>
純資産合計	<u>7,421,864</u>	<u>7,350,003</u>
負債純資産合計	<u>9,876,862</u>	<u>8,898,245</u>

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	1,674,336	1,510,117
売上原価	835,492	768,780
売上総利益	838,844	741,337
販売費及び一般管理費	555,860	496,886
営業利益	282,984	244,451
営業外収益		
受取利息	1,988	699
消費税差額	15,837	—
その他	213	1,609
営業外収益合計	18,039	2,308
営業外費用		
支払利息	517	367
営業外費用合計	517	367
経常利益	300,506	246,392
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,120	—
特別損失合計	2,120	—
税引前四半期純利益	298,386	246,392
法人税、住民税及び事業税	38,700	85,204
法人税等調整額	△4,018	11,129
法人税等合計	34,681	96,333
四半期純利益	263,704	150,058

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年8月5日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ
コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫 TEL 045-948-1961
四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,343	△0.1	179	76.1	181	75.1	112	68.8
23年3月期第1四半期	1,344	10.8	101	△13.7	103	△14.1	66	△16.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3,860.86	-
23年3月期第1四半期	2,286.77	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,481	8,109	85.5
23年3月期	10,616	8,218	77.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 8,109百万円 23年3月期 8,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0.00	-	7,600.00	7,600.00
24年3月期	-				
24年3月期(予想)		0.00	-	7,600.00	7,600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,356	△1.1	518	△4.2	519	△4.3	308	△12.9	10,567.32
通期	8,225	8.8	1,644	13.3	1,647	13.2	978	4.8	33,504.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	29,200株	23年3月期	29,200株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	－株	23年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	29,200株	23年3月期1Q	29,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、東日本大震災の影響により急速に悪化いたしました。供給面の制約が和らぐ中で生産活動に持ち直しの動きが見られるようになりました。

国内医療業界においては、政府の医療費抑制政策などにより医療機関の経営環境は厳しい状況にあり、医療機器に対する設備投資は、横ばいで推移するものと思われます。また、このところの為替相場における円高基調が海外メーカーとの競争において影響を及ぼす恐れがあります。

このような経営環境の中で、当社では本年度の売上計画を達成すべく、売上が集中する第2四半期以降を見据え営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第1四半期の売上高は1,343,112千円(前年同期比0.1%減少)となりました。当第1四半期は国内市場において検体検査装置の販売が前期に比べ低調に推移した一方、海外市場では、アジア市場において販売単価の高い採血管準備装置の販売が伸びたことなどから当第1四半期の総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比5.1ポイント増加し11.8%となりました。

利益面に関しては、売上高総利益は676,725千円(前年同期比2.9%増加)、前年同四半期には採血管準備装置関連の研究開発費があったことにより販売費及び一般管理費が497,341千円(前年同期比10.5%減少)となり、営業利益は179,383千円(前年同期比76.1%増加)、経常利益は181,325千円(前年同期比75.1%増加)、四半期純利益は112,737千円(前年同期比68.8%増加)となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置

当第1四半期における採血管準備装置の売上高は375,945千円(前年同期比17.2%増加)となりました。

第1四半期は国内市場で、前年同期比において微減となり、同市場における売上高は284,339千円(前年同期比2.7%減少)となりました。

海外市場においては、アジア市場を中心に販路拡大の成果が表れ、売上高は91,606千円(前年同期比222.1%増加)となりました。

・検体検査装置

当第1四半期における検体検査装置の売上高は116,135千円(前年同期比12.9%減少)となりました。

競合海外メーカーとの競争が続く国内市場の売上高は90,742千円(前年同期比21.3%減少)となりました。

海外市場においては、中南米市場での販売が好調であったため、売上高は25,393千円(前年同期比40.2%増加)となりました。

・消耗品等

当第1四半期における消耗品等の売上高は805,535千円(前年同期比0.4%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計納入台数の増加に伴い763,681千円(前年同期比0.7%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、41,853千円(前年同期比5.3%減少)となりました。

・その他

当第1四半期においては、前年同期にシステム関連の大型案件があった反動からその他の売上高は45,497千円(前年同期比48.5%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産の残高は9,481,163千円となり、前事業年度末比1,135,234千円減少しました。これは主に、仕入債務の支払、配当金の支払及び法人税等の納付等により現金及び預金が546,122千円減少、売掛金の回収が順調に進んだこと等により売上債権が661,287千円減少したことによるものであります。

当第1四半期末の負債の残高は1,371,351千円となり、前事業年度末比1,026,051千円減少しました。これは主に、平成23年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が554,611千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が322,862千円減少したことによるものであります。

当第1四半期末の純資産の残高は8,109,812千円となり、前事業年度末比109,182千円減少しました。これは利益剰余金が609,182千円減少、別途積立金が500,000千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は85.5%となり、前事業年度末比8.1ポイント上昇しました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日付の平成23年3月期決算短信で発表した平成24年3月期第2四半期累計期間並びに通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法は、固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積もりを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,153,569	3,607,446
受取手形	602,434	888,320
売掛金	<u>2,963,665</u>	<u>2,016,491</u>
商品及び製品	<u>933,715</u>	<u>1,010,023</u>
仕掛品	236,432	193,435
原材料及び貯蔵品	77,238	75,631
前払費用	8,321	4,613
繰延税金資産	<u>102,991</u>	<u>64,906</u>
その他	989	1,621
貸倒引当金	<u>△68,400</u>	<u>△3,885</u>
流動資産合計	<u>9,010,957</u>	<u>7,858,605</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	852,411	852,411
減価償却累計額	<u>△355,181</u>	<u>△362,479</u>
建物(純額)	<u>497,229</u>	<u>489,932</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	<u>△2,726</u>	<u>△2,769</u>
構築物(純額)	<u>1,351</u>	<u>1,308</u>
工具、器具及び備品	53,166	53,497
減価償却累計額	<u>△38,648</u>	<u>△40,477</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>14,518</u>	<u>13,020</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,300,426</u>	<u>1,291,587</u>
無形固定資産		
特許権	4,050	3,881
商標権	1,466	1,416
ソフトウェア	1,619	1,390
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>8,313</u>	<u>7,866</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
破産更生債権等	38,155	38,155
繰延税金資産	145,901	<u>171,777</u>
保険積立金	96,645	98,023
差入保証金	31,379	30,530
長期未収入金	—	<u>68,400</u>
貸倒引当金	<u>△22,892</u>	<u>△91,292</u>
投資その他の資産合計	<u>296,700</u>	<u>323,104</u>
固定資産合計	<u>1,605,441</u>	<u>1,622,558</u>
資産合計	<u>10,616,398</u>	<u>9,481,163</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,115,325	560,714
短期借入金	100,000	100,000
未払金	283,136	78,681
未払法人税等	381,824	58,962
未払消費税等	15,093	17,052
未払費用	45,391	47,649
預り金	7,465	27,984
賞与引当金	94,000	130,000
その他	2,433	1,653
流動負債合計	<u>2,044,671</u>	<u>1,022,698</u>
固定負債		
役員退職慰労引当金	195,205	198,780
製品保証引当金	148,542	140,866
受入保証金	8,984	9,006
固定負債合計	<u>352,732</u>	<u>348,653</u>
負債合計	<u>2,397,403</u>	<u>1,371,351</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	6,181,268	6,072,086
株主資本合計	<u>8,218,994</u>	<u>8,109,812</u>
純資産合計	<u>8,218,994</u>	<u>8,109,812</u>
負債純資産合計	<u>10,616,398</u>	<u>9,481,163</u>

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	1,344,617	1,343,112
売上原価	686,866	666,387
売上総利益	657,751	676,725
販売費及び一般管理費	555,860	497,341
営業利益	101,890	179,383
営業外収益		
受取利息	1,988	699
その他	213	1,609
営業外収益合計	2,202	2,308
営業外費用		
支払利息	517	367
営業外費用合計	517	367
経常利益	103,575	181,325
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,120	—
特別損失合計	2,120	—
税引前四半期純利益	101,455	181,325
法人税、住民税及び事業税	38,700	56,379
法人税等調整額	△4,018	12,208
法人税等合計	34,681	68,588
四半期純利益	66,773	112,737

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。